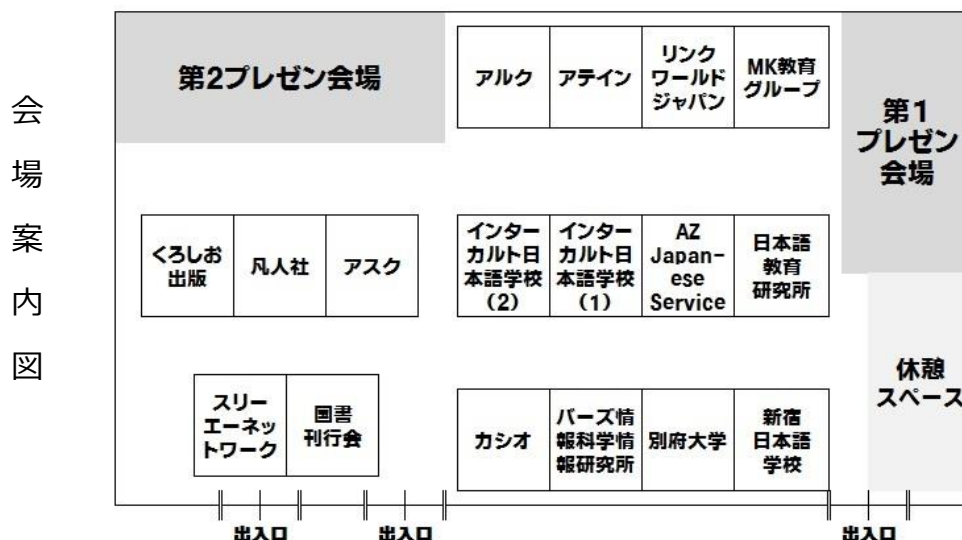


「日本語教育 e-learning 展示会」及び「日本語教育教材展示会」

- 主催 一般財団法人日本語教育振興協会
(研修委員会、平成 27 年度日本語学校教育研究大会委員会)
日本語デジタル教育推進協議会
- 日時 平成 27 年 8 月 9 日 (日) 10:30～16:30
- 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 レセプションホール



出展者・出展内容リスト

【e-learning 系】

1. リアル反転授業に生かす LMS を利用したオンラインテスト 有限会社 AZ Japanese Service

テスト作成、採点、記録、評価といった一連の作業は何かを教えている限りついて回るものですが、受講生の人数が多くなればなるほど、教え手の負担も増えていきます。弊社ではオンライン上にテストを作成、受講生が好きな時間、場所、デバイスで受けると、自動採点され、データが集積されるクラウドサービスを利用しています。選択問題のみならず、タイピング、前後のマッチングなど、さまざまな形式が可能です。JLPT 模擬試験や教科書別アチーブメントテストなど、一般向けに販売中ですので、教師の負担軽減及や受講者の客観的評価にぜひお役立てください。

2. 外国人のための日本語能力試験学習 E ラーニングコンテンツについて

ソリューショングループ アテイン株式会社

オンラインで学べる、外国人のための日本語 e ラーニング映像教材です。入門編・漢字編・N5 コース・N4 コースを制作しました。ナレーション全てに英語字幕があり、映像内のすべての漢字にルビが付きます。序盤はローマ字表記もあるので初心者でも安心です。動画だけではなくテキストも充実しています。入門編と漢字編には、ひらがな・カタカナ・漢字の書き取りシート PDF が付属します。N5 コースと N4 コースにはテキストや副読本 PDF、さらに確認問題と聴解問題も付属します。N3 コースは鋭意制作中です。N2 と N1 コースも順次制作予定です。

3. アルクオンライン日本語スクール

株式会社アルク

日本語の運用能力がアップできる「アルクオンライン日本語スクール」。日本語能力試験対策、実践的な日本語会話教材、日本語教師養成など、日本語学習・教育コンテンツを多く制作してきたアルクが、日本語会話に特化したオンラインサービスを提供します。通学時間不要、オフィスまたは自宅での受講が可能なので スカイプができる環境があれば、日本国内はもちろん、海外からでもレッスンが受けられます。学習者の発話を促しながらレッスンを進めていくので、集合型のクラスレッスンより発話量が断然多くなります。レッスンは全てマンツーマンですので、レッスン後には達成感、充実感を味わうことができます。

4. 日本留学試験に特化したオンラインシステム

株式会社 MK 教育グループ

日本留学試験に特化したオンライン教育であり、特徴としては、留学生の母国語を介して授業を行いつついるところです。対象は、日本語学校在校生で、EJU(文系/理系)・日本語・大学院(文系/理系)・英語(TOEFL)の授業が受けられます。板書は日本語で、解説を母国語で言い表すことで、内容の把握と理解力アップを図ります。現在、中国語バージョンと一部の韓国語の授業が出来上がっており、今後ベトナム語、英語など多言語化を進めて参ります。弊社開発の CRM(日本語学校管理システム)と連携してお使いいただくことで、システム上でオンライン受講の手続きや受講生データが一括管理できます。また、学校管理システムとしてもご利用になれます。

5. 反転遠隔授業方式による、新しい日本語教育プログラムのご紹介

リンクワールドジャパン株式会社

eラーニングとオンライン授業を組み合わせた反転遠隔授業方式による、新しい日本語教育プログラム”SmartJBasic”を開発した。

従来教師が行ってきた授業の大部分を eラーニングに置き換え、授業は、会話/応用練習、Q&A、詳しい説明など、授業でしか行えない項目に絞り込んだ。この結果、授業時間を従来より大幅に少なくする事による、新興国でも受け入れ可能な低価な授業料と、スマホや PC で自分の都合に合わせて自習できるという効率性の両方が可能となった。さらに eラーニングの進捗、成績を教師がモニターする事が可能で、eラーニングの進捗に応じてアドバイスをしたり、理解度に応じた授業を行う事が可能になる。

6. 中級向け eラーニング教材(ビジネス文書・文法)

特定非営利活動法人日本語教育研究所

NPO 日本語教育研究所の中上級向けビジネスライティング eラーニングコースは、日系企業の外国人社員を中心にこれまで 200 名ほどが受講している。当初は中上級向けに開発したが、外国人社員がより多様化し現コースでは内容理解が難しい受講生も増えてきたことから、初中級コースのニーズが高くなってきた。そこで、現行の内容を改良し、初中級の外国人社員が社内の日本語利用で書くことが多いメールに関する課題を増やし、初中級向けビジネスライティングコースを開講した。中上級コース、初中級コースを合わせて紹介する。

7. 【篠研】の日本語能力試験 N1 対策 eラーニングシステム & 日本語教育能力検定試験対策通信講座

篠崎大司(別府大学)

日本語能力試験 N1 合格のための eラーニング学習システム(聴解・文法)と、通信制日本語教育能力検定試験対策講座をご案内します。eラーニング学習システムは文法・聴解各約 1000 問の問題数と各 26 本の解説動画からなります。授業でご利用いただくことで、教師の授業負担の軽減と均質かつ徹底した学習環境をご提供いたします。付属テキストとの併用で自律的学習・学習効果の向上も見込めます。検定試験対策講座は、週 3 回メールマガジンと講義資料(PDF)をお届けします。講義資料は PowerPoint スライド 2600 枚分と充実した内容、さらに講義資料に沿った模擬問題付きです。いつから始めても 1 年間のご購読で検定試験全出題範囲を学習できます。

8. クラウド型 e-learning システム「スーパー日本語」

インターカルト日本語学校

クラウド型 e-learning システム「スーパー日本語」は、日本語教育に関わる教材データベースをシステムにまとめた、いつでもどこからでも学習できる e-learning サービスです。教材は、37 年に及ぶ日本語教育の経験をもつインターカルト日本語学校の講師陣が独自開発。JLPT や BJT などの試験対策、企業別のオリジナル教材、大学における Academic Japanese、さらに日本語教師養成講座など、様々なコースから成り立っています。クラウド環境で組織ごとにグループ設定された受講者をポートフォリオ機能で管理することができ、現在、海外と国内で活用されています。

9. 電子黒板・モバイル端末を用いた語学学習のための統合電子教材ソフトの紹介

インターカルト日本語学校

統合電子教材ソフト Finger Board は、電子黒板やモバイル端末などの特長を最大限に生かし、電子教材を用いて「楽しく分かりやすい」語学教育を行うためのソフトウェアです。ソフトを使って、教材を作ることとその教材を使って学習をすることが可能です。教師と学生がソフトを通じて相互につながる機会が創造されます。Finger Board は名前の通り、端末を一枚のキャンバスにして指で操作をするソフトです。展示会では、教育機関での導入例や Finger Board を用いた電子教材の活用法や、教材の作成方法をご紹介します。

10. e-ラーニングシステム(VLJ)と AR(仮想現実)など ICT 技術を駆使して構築した教授法

新宿日本語学校

1990 年代終盤頃、マルチメディアという言葉が流行った。当校では、こうしたデジタル素材を活用した教材が次世代の教材だと判断し、日本語文法の可視化を目指し、教材や教授法を開発してきた。2012 年、世界に向けたコンテンツを探していた NTTCom. が、当校の教材や教授法がインターネットと親和性があると判断し、教材の共同開発を提案、VLJ が誕生した。VLJ はネット上で配信される LMS と、各自のスマホやタブレット PC 上で操作するアプリの二つで構成されている。また、教科書は AR に対応させた。

現在、日本国内の複数の日本語学校、海外では、フランスや香港、ミャンマーなどの教育機関で実際に利用されている。(VLJ=Visual Learning Japanese/LMS=Learning Management System/AR=Augmented Reality)

【教材系他】

1.1. 日本語学習者向け専用電子辞書「XD-SU5300」

カシオマーケティングアドバンス株式会社

カシオの電子辞書エクスワードシリーズより、日本語学習に役立つコンテンツを収録し、日本語のネイティブ発音も充実した商品をご紹介します。商品の主な特長は4つあります。

①ひらがなルビを採用したコンテンツを収録し、正しい日本語を分かりやすく学べます。②教科書体のお手本をなぞることで漢字の書取り練習が行えます。③日本語のネイティブ音声を約7万語収録していますので、日本語の読み方や正しいアクセントを確認したい時に役立ちます。④日本語能力検定試験対策ができる参考書が収録されており、N1とN2の文法を中心に学べます。また、本機はローマ字での入力に加え、手書きや50音での入力もできます。

1.2. クラウド連絡網サービス「バーズ安否確認+」

株式会社バーズ情報科学研究所

「安否確認と連絡網をどこよりも安く！安全に！！」クラウド型安否確認連絡網サービス「バーズ安否確認+」のご紹介と展示を致します。当サービスは、クラウド型サービスですので大掛かりな設備は不要です。また、はじめての方でもカンタンにお使い頂けますので安否確認はもちろんのこと、日頃の連絡網サービスとしてもご活用頂けます。当サービスはWEBアプリケーションですので、お使いのパソコン、スマートフォン、携帯電話などデバイス問いません。さらに便利にお使いいただけるよう、豊富な機能をご用意しております。学生様・職員様の安否確認や日頃の連絡ツールに最適ですので、ぜひご覧ください。

1.3. 「TRY！日本語能力試験」を使った反転授業のご紹介

株式会社アスク出版

横浜デザイン学院日本語学科では、中級クラスにおいて『TRY!N2 日本語能力試験』を採用し、反転授業を行っています。反転授業とは、学習者が予習として講義の動画を視聴し、授業内で活動を通して学びを深める授業展開のことです。発表では、予習用動画と、テキストの使用例、授業内で行った活動をご紹介します。学習者が多様化し、e-ラーニングの登場で学習環境が変化した現在、日本で日本語を学ぶ意味が問われていますが、反転授業はクラスを活性化させ、学びの価値を生み出す方法の一つと言えます。また文法の授業では、ただ理解だけに止めず、自ら運用する力を身につけさせることが重要です。より活発な授業を行うためのヒントとなればと思います。

1.4. 他者の声から自分の声を作る－NEJの授業の方法

くろしお出版

NEJは、自己表現活動を中心としてあわせて語彙や文型・文法事項も着実に習得できる基礎日本語教育のためのオールインワン（一冊ですべてそろろう）の教材です。

各ユニットでは、本文であるナラティブを基盤として他者の声から自分の声をつくるという原理で学習を進めます。今回は、ユニットの授業プランであるTフォーメーションを解説し、その授業の一部としてPPTカミシバイによる授業を実演します。また、具体的なユニットの授業プランと授業方法を付属教材やウェブから入手可能なオーディオや各種プリントなども紹介しながら説明したいと思います。

1.5. 『NIE 実践ワークブック』の紹介と授業例

国書刊行会

『NIE 実践ワークブック 新聞で身につく日本語力』（宮 弘美著）は、授業で気軽にNIE (Newspaper in Education)を導入できるよう構成されたワークブックです。NIE学習だけでなく、「読む・書く」を中心に日本語力を身につけられるよう、独習用・グループワーク用にさまざまな課題も収録しています。著者が本書の効果的な使い方、日本語学校での授業例などをご紹介します。

1.6. 留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解シリーズ（中級・中上級・上級）

株式会社スリーエーネットワーク

本教材は、講義や口頭発表を聞いて内容をまとめられるようになることを目指して、開発された。大学入学前の予備教育から大学教養課程の学習者を想定している。スライドを見ながら聞く課もあり、実際の講義の形に近い練習ができる。各課は2～5分程度の独話、正誤問題、質疑問題、要約、話の構造を確認させる「構成表」の穴埋め問題となっており、内容理解のための練習を段階的に行う。聴解学習で要約を書いたことがない学習者のために、最初の数課は穴埋め完成形式の要約問題になっている。題材は日本社会や文化に関連する内容で、留学生に興味を持てるようなものにした。使い方によって総合テキストとしても使用することが可能である。

1.7. にほんご教材リスト 2015-2016

株式会社凡人社

日本語教材は国内・国外あわせて200社以上、4,000点以上が出版されています。「日本語教材リスト」は年に1度秋にこれらの教材を収め、日本語教育に携わる方々のより良い教材選びの手助けとなるよう努力しております。日本語教材リストは、大きく4つの分野（日本語学習用教材／視聴覚・補助教材／辞典／教師用参考書）に分け、さらに細かく分けた分野ごとに掲載しています。

当日は具体的な教材を提示しながら日本語教材リストのより良い使用法、教材選びをご紹介します。また、昨年から今年にかけて出版された新刊もご紹介いたします。

プレゼンテーションタイムスケジュール

【第1会場】

11:00 ～ 11:25	株式会社MK教育グループ
	日本留学試験に特化したオンラインシステム
	日本留学試験受験対策のためのオンラインコースであり、留学生の母国語を介したEJU科目(文系/理系)・日本語・大学院(文系/理系)・英語(TOIFL)の授業が受けられます。なお、中国語をはじめ韓国語、英語、ベトナム語などの多言語化を進めております
11:35 ～ 12:00	リンクワールドジャパン株式会社
	反転遠隔授業方式による、新しい日本語教育プログラムのご紹介
	eラーニングとオンライン授業を組み合わせた反転遠隔授業方式による、新しい日本語教育プログラム“SmartJBasic”を開発した。少ないコストで、質の高い日本語教育サービスを提供する事が可能となる。
12:10 ～ 12:35	ソリューショングループ アティン株式会社・
	外国人のための日本語能力試験学習Eラーニングコンテンツについて
	オンラインで学べる、外国人のための日本語eラーニング映像教材。入門編、漢字編、N5、N4コースを制作。英語字幕やローマ字表記があるので初心者にもオススメ。書き取り用テキストや副読本PDFが付属。
12:45 ～ 13:10	株式会社アルク
	アルクオンライン日本語スクールご紹介
	日本語の運用能力がアップできる「アルクオンライン日本語スクール」。日本語能力試験対策、実践的な日本語会話教材、日本語教師養成など、日本語学習・教育コンテンツを多く制作してきたアルクが、日本語会話に特化したオンラインサービスを提供します。学習者の目的に合わせて選べる豊富なコース展開が魅力です。
13:20 ～ 13:45	有限会社 AZ Japanese Service
	リアル反転授業に生かすLMSを利用したオンラインテスト
	LMS (Online Management System)を活用してテストやe-learning教材を作成し、運用する試みを開始しています。学習者の理解度、到達度の評価に加え、自律学習のモチベーションの維持のためにも、オンラインコンテンツは今後、重要な役割を担います。
13:55 ～ 14:20	特定非営利活動法人日本語教育研究所
	中級向けeラーニング教材(ビジネス文書・文法)
	中上級向けビジネスライティングeラーニングコースを開講し、これまで200名ほどの受講があったが、中級コースの要望があり中級向けビジネスライティングコースを開講した。また同様に、中級向けeラーニング教材が多くないことから、文法学習用のeラーニング教材を開発中でそれを紹介する。
14:30 ～ 14:55	インターカルト日本語学校
	クラウド型e-learningシステム「スーパー日本語」
	インターカルト日本語学校の教材データベースとポートフォリオシステムを連携させたクラウド型e-learningシステム「スーパー日本語」が展開する総合日本語学習システムの紹介
15:05 ～ 15:30	新宿日本語学校
	eラーニングシステム(VLJ)とAR(仮想現実)などICT技術を駆使して構築した教授法
	新宿日本語学校の教授法は、eラーニングシステム(VLJ)とAR(仮想現実)などICT技術を駆使して構築した。基本になる文法も独自に開発したもので、文法を可視化することによりICTとの親和性を高めた。
15:40 ～ 16:05	篠崎 大司(別府大学)
	【篠崎】の日本語能力試験N1対策eラーニングシステム&日本語教育能力検定試験対策通信講座
	個人でも、学校でも、企業でも使える日本語能力試験N1合格のためのeラーニング学習システム(聴解・文法)、およびいつでも、どこでも、スマホでも学習可能なメール配信による日本語教育能力検定試験対策通信講座の紹介。

【第2会場】

11:10 ～ 11:35	インターカルト日本語学校
	電子黒板・モバイル端末を用いた語学学習のための総合電子教材ソフトの紹介
	統合電子教材ソフト Finger Board は、電子黒板やモバイル端末などの特長を最大限に生かし、電子教材を用いて「楽しく分かりやすい」語学教育を行うためのソフトウェアです。展示会では、教育機関での導入例やFinger Board を用いた電子教材の活用法や、教材の作成方法をご紹介します。
11:45 ～ 12:10	株式会社アスク出版
	「TRY!日本語能力試験」を使った反転授業のご紹介
	「聞く、話す、読む、書く」という言語活動の基礎である文法の使い方がよく分かるように作られた教材「TRY!日本語能力試験 文法から伸ばす日本語」シリーズ。本教材を用いた反転授業について実例を紹介しながら、よりよい活用を模索できればと企画しました。
12:20 ～ 12:45	株式会社バース情報科学研究所
	クラウド連絡網サービス「バース安否確認+」
	「安否確認と連絡網をどこよりも安く!安全に!!」クラウド型安否確認連絡網サービス「バース安否確認+」のご紹介と展示をいたします。学生様・職員様の安否確認や日頃の連絡ツールに最適ですので、ぜひご覧下さい。
12:55 ～ 13:20	株式会社スリーエーネットワーク 発表者:坂本恵、大木理恵(東京外国語大学留学生日本語教育センター)
	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解シリーズ(中級・中上級・上級)
	本シリーズは「講義や口頭発表を聞く力」を養成することを目的とし、単に講義や発表を聞くだけではなく、概要をつかみ、話の構成を考えるために、ノートを取り、要約文を書き、内容について話す練習があるのが特徴です。
13:30 ～ 13:55	株式会社凡人社
	にほんご教材リスト2015-2016
	日本語教材は国内・国外あわせて200社以上、4,000点以上の日本語教材が出版されております。「日本語教材リスト」は年に1度秋にこれらの教材を収め、日本語教育に携わる方々のより良い教材選びの手助けとなっております。日本語教材リストを中心に昨年から今年にかけて出版された新刊を中心にご紹介いたします。
14:05 ～ 14:30	くろしお出版 発表者:西口光一(大阪大学国際教育交流センター)
	他者の声から自分の声を作る-NEJの授業の方法
	自己表現活動中心の基礎日本語教育のための教材NEJの各ユニットでは、本文であるナラティブを基盤として他社の声から自分の声を作るという原理で学習を進めます。今回は、ユニットの授業プランであるTフォーメーションを解説し、その授業の一部としてPPT(カミシバイ)による授業を実演します。
14:40 ～ 15:05	国書刊行会
	『NIE実践ワークブック』の紹介と授業例
	『NIE実践ワークブック』(宮 弘美著)は、授業に気軽にNIE(Newspaper in Education)を導入できるよう構成されたワークブックです。日本語力を身につけられるさまざまな課題も収録しています。本書の効果的な使い方、日本語学校での授業例などをご紹介します。
ブース 出展のみ	カシオマーケティングアドバンス株式会社
	日本語学習者向け専用電子辞書「XD-SU5300」
	【WEB限定商品】ルビ表示で読みやすい。筆順がわかる。日本語約7万語ネイティブ発音やJIPT対策参考書をはじめ50コンテンツ収録。日本語学習を強力サポート